

令和2年度 かりん 児童発達支援自己評価表(職員け)

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	5	定員に対して床面積等は基準を満たしているが、コロナ禍でソーシャルディスタンスを考えると利用人数や特性に配慮した支援を行う為にスペース確保が難しい面もあると思われるが、出来る限り間隔を取りながら活動を行い、グループ分け等も工夫し、消毒を引き続き行い、コロナ感染拡大予防を実施している。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	3	・配置基準よりも加配をして対応しているが、手が届きにくい点もあると思うので、グループ分けの工夫や職員のスキルアップを更に図っていく。
	③	生活空間は、障害特性に応じ本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。	6		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、事業改善につなげているか	6		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		
適切	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	全体でプログラムを考えることは、難しいこともあるが、その日の療育終了後に振り返りを行い、今後に必要な課題内容について話し合いをおこなっている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	書籍等を用いて、少しでもプログラムが固定化されないよう日々新しいものも取り入れるように工夫している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援サービス計画を作成しているか	5		未回答1

な 支 援 の 提 供	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6		
保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	・お互いの事業所の担当同士で情報共有をしている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		・保健センターへの職員派遣 ・保育課への職員派遣 佐野市SS研究会、すこやか研究会の参加
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		・訪問支援、就学シートなど ・ケース会議の実施
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		・支援シートの記入 ・就学後必要に応じて小学校と情報共有を行う。
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		・県立リハビリセンターの研修に参加 ・とちぎ歯の保健センター依頼 （今年度はコロナ禍のため中止）
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	コロナ禍の為、他事業所との交流は控えており、実施できていない。今後リモート等で交流する機会を検討していく。
	㉗	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		・法人の代表が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	6		・コロナ禍で型を変えて企画していたが緊急事態宣言等で中止となった。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		・契約時に伝えているが不十分な点は改善していく。
	保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	
㉜		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		
㉝		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		
㉞		定期的にホームページ等で、活動概要や行事予定、業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6		
㉟		個人情報に十分注意しているか	6		
㊱		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	・浅市等の企画やとちのみ祭り等企画していたが今年ではコロナ禍の為中止。 今後、コロナの状況を見て再開となる。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		・契約時に伝えている。 ・感染防止については周知しているが、それ以外不十分な点は改善していく。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		・フロム浅沼の避難訓練に参加している。 ・避難訓練の実施案内を掲示している。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6		
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		・法人としての事例等を共有している。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		・法人代表が参加した研修資料を回覧し周知している。
	④⑰				